

「やったっ!」

この場所でおもしろいことを。

浜松をインスト音楽の聖地に

今年、国内最大級の夏フェス「フジロックフェスティバル」に念願の初出演を果たしたキーボーディスト、アダムアットさん。歌がなく、楽器だけの演奏による「インストウルメンタル音楽」で彼の楽曲初体験の観客をも、ひたすら踊らせる。と話題を集めた。

を買ってくれてからです。

中3の時、家事を手伝って稼いだお小遣いでシンセサイザーを手に入れた、メロディーを考えてはシンセサイザーに打ち込むようになりましただ。でも歌詞が書けなかったの、曲だけ。それが僕のインストウルメンタル音楽の始まりだったかな。その頃はまだ「音楽で飯を食っていい」なんて考えてはいなかったですけどね。

バイトがきっかけで転職

校を卒業してからすぐに就職して、4〜5年ほど工業資材を売る営業マンをしていました。友だちの紹介でコンサートの設営の仕事を手伝うバイトを始めて。エン

ピアノとグリーンピースが嫌いな子どもだった

アノを習い始めたのは5歳の頃。嫌がる僕を両親が熱心に教室に連れて行って。とにかく練習が嫌いで、お稽古の日によく家を出してしまいました(笑)。ピアノが楽しくなったのは、小学校高学年の時。父がビートルズのCDとピアノスコア

ターテインメントの裏方仕事が好きで楽しくて、いつの間にか会社を休んでバイトに行くようになって(笑)。で、イベント会社、コンサートの企画会社と転職を重ねた経験を基に独立して、イベントやライブを企画し始めました。

平日のライブが18時半開演だと、お客さんは定時で仕事を終えて駆け付けても間に合わない。だからお客さんのお目当てのバンドが出演するまでの前座として、自分でピアノを弾いたんです。運よく「これって売れるんじゃないの?」と言ってくれる人が現れて、2014年にCDデビューを果たしました。

浜松からインストシーンを底上げ

は去年から、浜名湖ガーデンパークでインストバンドだけの野外フェスを主催しています。J

と言わせるのが夢です。

報告してくれるようになって。

彼らがいっつか、新幹線で浜名湖を通過する時、ちよつとカーテンを開けて外を眺めて「懐かしいな、浜松」と

ポップやアニソンと違ってインストは歌詞がないからカラオケにもないニッチなジャンル。興味がない人にはただのBGMでしかない。まずは「インストウルメンタル」という音楽ジャンルを世に広めたいと思っています。

新幹線ののぞみは止まらないし、停車するひかりの本数は少ないけど、インストフェスのために浜松駅で下車させたい! せっかくだから僕の好きな万葉の森公園にも、水窪の高根城跡にも足を運んでほしい。そんな発信を続けていたら、ファンの人たちが「遠いよ!」とか(SNSで)つぶやきながら訪れたことを

キーボーディスト
ADAM at さん

【やっていること】
キーボードを演奏するミュージシャン

アダムアット
■1977年生まれ ■栃木県生まれの磐田市育ち ■浜松市在住 ■磐田南高校卒
「ADAM at」とは、本名の「玉田(TAMADA)」を逆さに読んだもの。
高校を卒業後、営業マンやイベント会社などを経て、2011年にキーボーディストとして活動を開始。2015年にメジャーデビュー。NHKのプロ野球放送のテーマ曲「六三四」は同年より5年連続で使われている。
2017、18年のタワーレコード年間ジャズ・セールス・チャートでは日本人アーティストとして2年連続1位を獲得。国内外のフェスに数多く出演し、CM音楽等も多数手掛ける。ラジオでは2本のレギュラー番組を担当。

message

若いうちは都会に出てもいいと思う。で、たまに帰ってきて「浜松やっぱ田舎だな」ってちょっと鼻で笑って、「俺ならこうする」っていう気持ちを持ってくれたらいいな。



トワイライトシンδροーム
2019年6月にリリースした5枚目のフルアルバム。世界で活躍するドラマーやバイオリニストなど多彩なゲストと奏でるピアノ・インストミュージック。ジャズの垣根を越えたADAM atらしいポップなサウンドが魅力。

ワンマンツアーは全国8カ所で開催。
浜松では、12/6(金)「ライブハウス浜松窓枠」にて。

